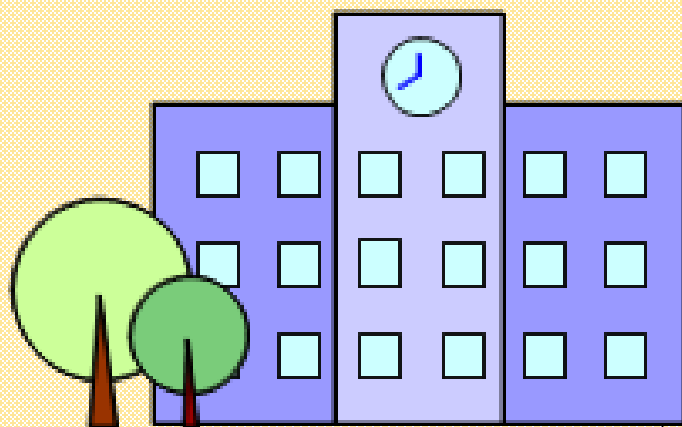


2026版



コミュニティ・スクール はなまき版 ガイド

「地域とともにある学校づくり」
を目指して

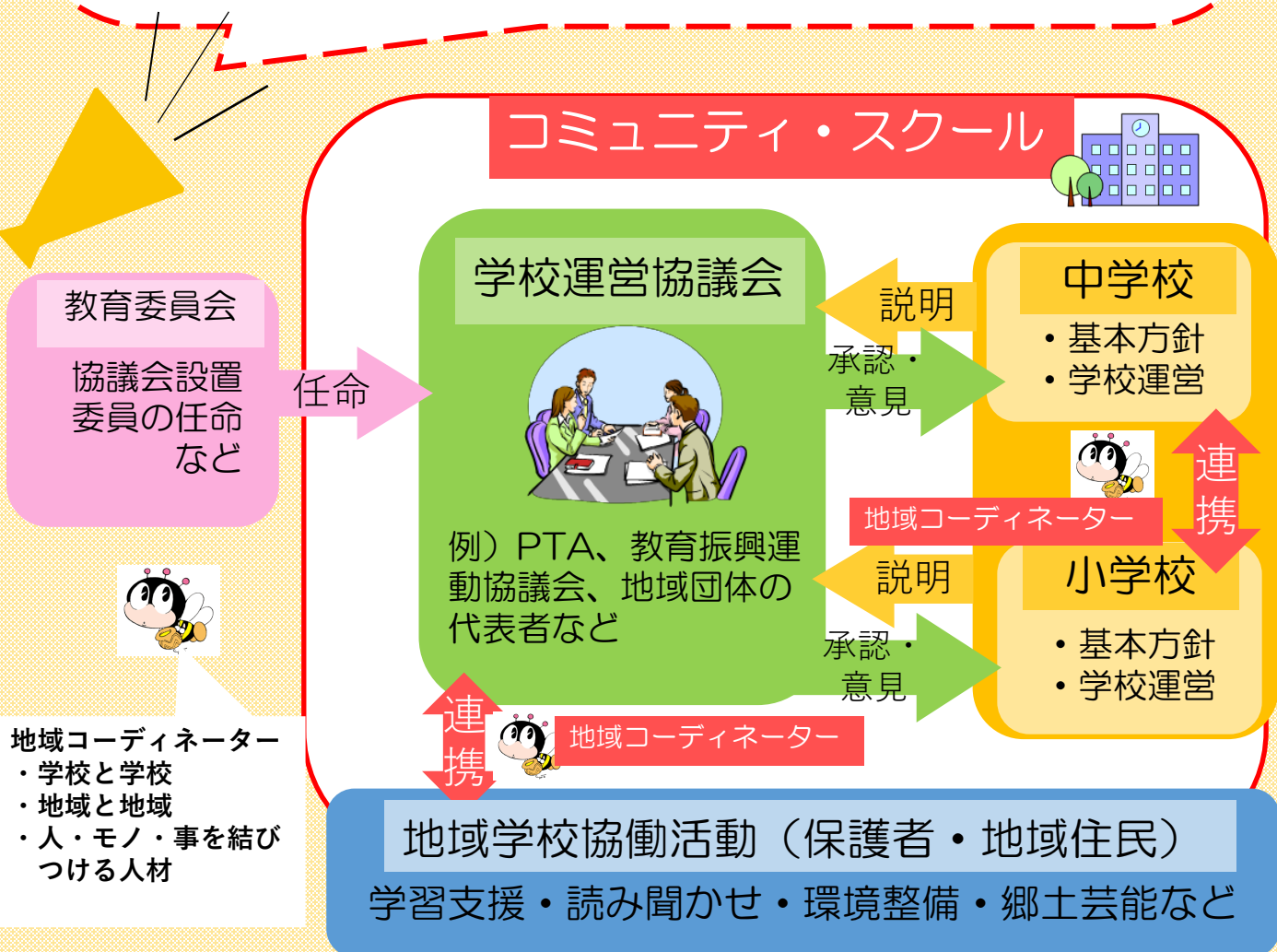


花巻市教育委員会

1 花巻市が進めるコミュニティ・スクール

花巻市では、これまで取り組んできた「**小中連携教育**」をさらに充実させるため、「**中学校区**」に一つの学校運営協議会の設置を進めます。

このことにより、小学校から中学校までの**9年間をと**おした「目指す子ども像」を学校、保護者及び地域住民が共有し、協働することで、「地域とともにある学校」の実現を図ります。



2 コミュニティ・スクール（CS）って何？

コミュニティ・スクールは、「**学校運営協議会**」を設置している学校のことです。学校運営協議会の委員は、保護者や地域住民などで構成されます。学校運営協議会は「**頼もしい学校の応援団**」の役割を担う組織であることが期待されています。

3 学校運営協議会でどんなことをするの？

「**学校運営協議会**」は、学校と保護者や地域住民が共通のビジョンのもと、学校運営、教育活動の在り方、課題解決の方法などについて、一緒に考え、一体となって特色ある学校づくりを進めていきます。

学校運営協議会の 機能

- 1 校長が作成する**学校運営の基本方針**を承認する
- 2 **学校運営**について、教育委員会または校長に意見を述べるができる
- 3 **教職員の任用等**に関して、校長を通して教育委員会に意見を述べるができる

学校運営協議会の具体的な役割

1. 計画の策定 学校運営協議会

- (1) 学校・保護者・地域住民の方など立場の違う委員で構成された、学校運営協議会において、地域の子どもたちがどのように育ってほしいのか（育てたいのか）という、「共通の目標・ビジョン」を協議し、共有します。
- (2) 「共通の目標・ビジョン」を実現するために、学校・保護者・地域住民の役割分担を明確にします。

2. 実施 地域・保護者等 学校

計画された「共通の目標・ビジョン」を実現するため、役割ごとに実施します。

例) テーマ「地域産業や文化への理解を深める」

- ・学校→地域産業を学ぶ、体験学習、学校行事等で披露
- ・保護者→地産地消の食材を使用した食事を意識する
- ・地域住民→指導者、イベントの企画（販売体験）

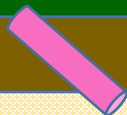
3. 評価 学校運営協議会

実施した活動について、アンケートを取るなどして評価をします。

4. 改善策の協議 学校運営協議会

評価をもとに目標の微調整、計画の見直しを図るなど、次年度へ向けた改善策を協議します。

※学校運営協議会は、「共通の目標・ビジョン」を実現するため、「計画・評価・改善」を協議する重要な役割を果たします。



地域学校協働活動ってなに？

「地域学校協働活動」は、学校運営協議会で学校・保護者・地域住民が決定した「共通の目標・ビジョン」を実現するために、連携・協働して行う様々な活動のことです。

地域学校協働活動の例

※教育振興運動の内容も含まれます。

- ・学習支援（ゲストティーチャー）・読み聞かせ・環境整備
- ・登下校の見守り・キャリア教育・郷土芸能・部活動指導
- ・「早寝早起き朝ごはん」運動
- ・「情報メディアとの上手な付き合い方」 など

地域学校協働活動 事例

湯本小学校 「ふるさと学習の充実」

総合的な学習（ゲストティーチャー）

- ①地域活動への参加
稲作学習後に地域の
イベントで米飯販売



- ②成果発表
学習発表会での発表
郷土芸能・偉人など

湯本小学校 学習発表会

日時 平成30年10月20日（土）
8：45～12：00

場所 湯本小学校 体育館

2学年 劇「友だちだよ」
1学年 劇「がっこうは たのしいよ」
5学年 劇「米の名は。」
伝統芸能「櫓ノ目 鬼剣舞」
全校合唱「COSMOS」
3学年 劇「本当の宝物は？」
4学年 合唱「お贈り品になって」
「ふるさと」
6学年 劇「ほんとうに だいじなもの」

・観劇は7時30分となります。
・観劇中は、携帯電話やカメラの電源を切り、子どもたちの声がよく聞こえるように静かにしてください。立退きや退席の際はご配慮ください。
・ビデオカメラでの撮影は許可後方のみ許可いたします。また撮影した写真や動画をSNS・YouTube等へアップロードする場合は、個人が特定できる状態で公表する場合は事前に許可をのぞいてください。
・ご来場の際はより詳しくの場内案内をのぞいてください。
・観劇駐車場、校庭以外の場所や路上には駐車しないよう、ご協力をお願いいたします。

地域コーディネーターは、地域に根差した活動をしている人材や団体を掘り起こし、学校運営協議会で決まった活動がスムーズに進むように、学校と地域を繋げてくれるパイプの役割をします。



地域コーディネーター 活動

学習支援に繋がる人材・施設・企業の 発掘とそれぞれの連携を図る

- ①学習支援につながるゲストティーチャー（美術、家庭、郷土芸能など）や読書推進につながる読書ボランティア等の発掘と活用による学力向上を図ります。
- ②地元企業との連携によるキャリア教育・職場体験施設の充実を図ります。
- ③学習支援や職場体験などを通し、子どもたちが地域行事へ参画する機会を創出し、地域の活性化へ繋がります。



コミュニティ・スクールを 設置するメリットは？

1. 子どもは、地域の人々と触れ合うことで、体験活動が充実します。
2. 保護者は、地域全体で子どもが育てられることへの安心感をもてます。
3. 地域は、子どもや保護者と直接かかわりを持つことで、「地域の活性化」に繋がります。



中学校区への設置で、さらに深まるメリット

1. 小学校と中学校の連携

これまでも取り組んできた小学校と中学校の連携を、さらに充実させます。

2. 中一ギャップの解消

子どもたちが中学進学により生じる学習内容や生活リズムの変化などの困り感を減らします。

3. 「育てたい子どもの姿」の共有

学校・保護者・地域住民が小学校から中学校までの「育てたい子どもの姿」を共有し、協働することで教育環境の向上を図ります。

